

国立・国定公園総点検事業の進め方

資料9

<国内の動向>

- 中央環境審議会「自然公園のあり方に関する中間答申」(H14. 1月)
- 自然公園のあり方懇談会 (H14~17)
- 国立・国定公園の指定及び管理運営に関する提言 (H19. 3月)
 - 生物多様性豊かな地域を「すぐれた自然の風景地」として再評価すべき
 - 国民にわかりやすく、効果的に管理できる区域・名称の検討
- 第3次生物多様性国家戦略 (H19. 11月)
 - 国立・国定公園の資質に関する総点検を行い、国立・国定公園の全国的な指定の見直し、再配置を進める (国家戦略2010においても同様に記述)

<海外の動向>

- CBD/PoWPA (保護地域作業プログラム) (平成16年COP7決議)
 - 2009年までに、国あるいは地域レベルのギャップ分析により抽出された保護地域を選定し、2010年までに陸域、2012年までに海洋環境の包括的、生態的代表的国および地域レベルの保護地域制度を確立する

平成19~20年度

- 生物多様性の観点を入れた、新たな自然の風景地の評価方法の検討と分析の実施
- 指定候補地を具体的に抽出するためのデータ収集、評価の試行

- 国立・国定公園の役割分担、選定要件(規模、自然性等)の見直しの検討

平成21年度

- 全国的な自然環境に関するデータを分析し、生物多様性保全上重要な地域を抽出するとともに、現在の国立・国定公園の区域との重複状況を分析(ギャップ分析)
- 国立・国定公園として指定・編入することを検討する地域を選定する考え方を検討するとともに、候補地の案を検討
- 一部の指定候補地における調査の実施、公園計画の見直しに向けた作業の実施

平成22年度

- COP10で総点検事業の考え方、目標、指定候補地の公表
- 生物多様性保全の観点での、国立・国定公園の新規指定、拡張候補地の選定の考え方
- 我が国を代表する重要地域に対する国立・国定公園によるカバー率の目標設定
- 指定候補地の大まかなエリアの抽出

- 既存制度の改訂(自然公園選定要領、国立公園基本調査標準、国立公園の公園計画作成要領等)
- 指定候補地における調査の実施、公園区域・計画の見直しに向けた作業・調整の実施
- 鳥獣保護区、自然環境保全地域等の他の保護地域施策との連携

平成23年度~

- COP10を受けた総点検事業の目標、指定候補地の見直し